

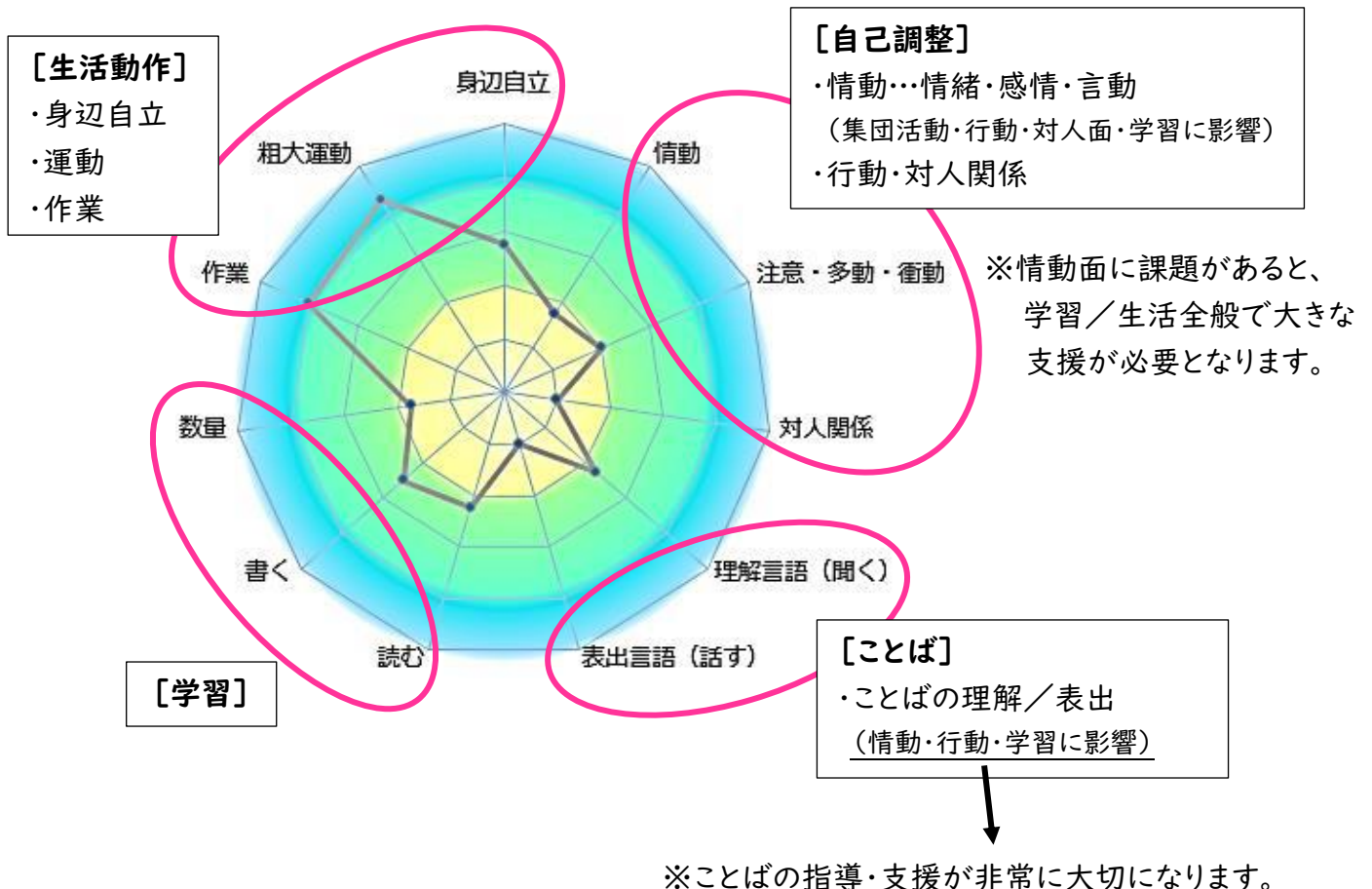


A²『個別の教育支援計画』のアセスメントレーダーを読み取ってみよう!

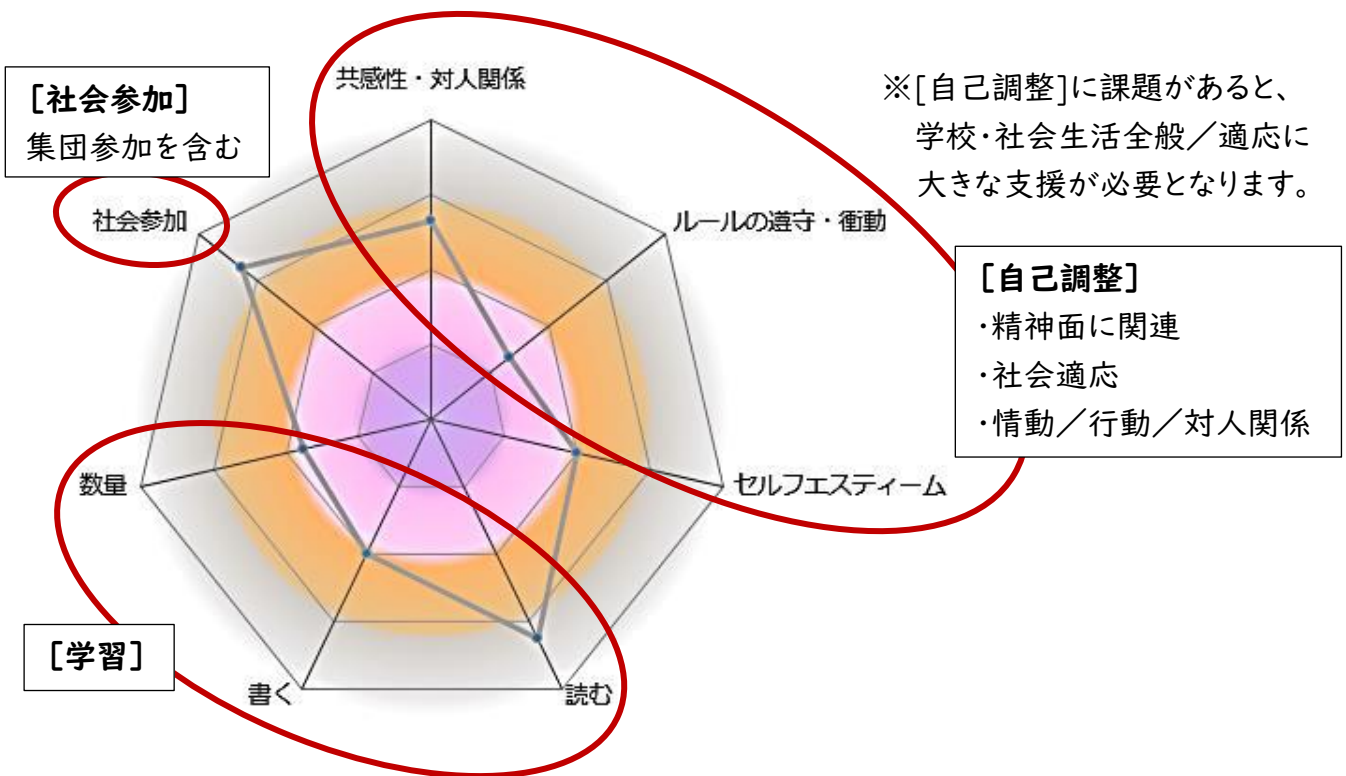
A²[支援のための発達アセスメント]は、子どもたちの目標や支援内容を具体的に検討し、**関わる全ての人と共通理解**することを目的としたツールです。チェックした方が見ている子どもたちの今現在の様子がレーダーの形に反映されてきます。複数の子どもたちのレーダーを見ることのできるなら、ぜひ見比べてみてください。子どもたちの特性や日常の様子が似ていれば、レーダーの形も似通ってきていると思います。子どもによってアプローチは変わりますが、より有効的な支援や配慮、おすすめの工夫など、先生方の日常の取り組みを、ぜひ情報共有し合ってください。

☆レーダーの各項目の広がりやへこみには、子どもたちの「**長所**」や「**課題**」が表れているはずなので、まずは、何が得意で何が苦手なのかを読み取って把握してください。子どもたちの「**ストロングポイント**」をどう活かしていくかが重要となります。

レーダーと各項目の対応関係①



リーダーと各項目の対応関係②



☆目標設定、配慮や支援、工夫の手立てを検討する際は、子どもたちの実態やストロングポイントを理解したうえで、様式2の中にある2種類の「合理的配慮のアイデアリスト」を開いて参考にしてみてください。

参考資料

合理的配慮など支援方法のアイデア集①
(実態把握リーダーから検討)

合理的配慮など支援方法のアイデア集②
(子どもの課題・指導場面から検討)

① 合理的配慮など支援方法アイデアリスト (実態把握リーダーから)

参考：() 合理的配慮の観点 子どもの実態・状況に応じてご検討ください
※本様式においては、合理的配慮の観点について明確にする必要はありません
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/046/siryu/attach/1314384.htm

② 合理的配慮など支援方法アイデアリスト (子どもの課題・指導場面から)

参考：() 合理的配慮の観点 子どもの実態・状況に応じてご検討ください
※本様式においては、合理的配慮の観点について明確にする必要はありません
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/046/siryu/attach/1314384.htm

関連項目の色分け	集団参加、感情コントロールの課題 攻撃性など、情動面	落ち着きがない・注意 衝動的に行動
	大きい画面	集団参加
	情動 (感情・行動)	注意・多動
1. 学校生活全般 心理面 集団参加 対人関係	落ち着いたり、リラックスできる休憩時間を日々のルーティンの中に組み込む (0-1-1)	グループで活動する時のする (0-1-1)
	対人関係や円滑なコミュニケーションをとるための指導として、ソーシャルスキルの指導を行う (0-1-1)	安定できる座席を工夫する (0-1-1)
	不適切な発言を助長させないようにするために、不適切な発言に対しては反応を控える (0-1-1)	整理整頓ができていないか自分でチェックできるよ (チェック票の活用等) (0-1-1)
	コミュニケーション学習 など	

課題	【情動面の課題】 大きい画面にする	【ADHDの課題】 大きい画面にする
	集団参加、感情コントロールの課題 攻撃性など、情動面	落ち着きがない・注意 衝動的に行動
1. 学校生活全般 心理面 集団参加 対人関係	集団への様々な参加方法を認める。(教室の中に入ることにとらわれずに) (0-1-1)	教示や注意する方や指示を る (0-1-1)
	5人以下の少人数の集団から徐々に大きい集団に参加できるようにする (0-1-1)	グループでは (0-1-1)
	生徒にわかりやすい、具体的に明確な話す際のルールを作る (0-1-1)	安定できる座席 (0-1-1)
	コミュニケーション	